

〔 名 前 〕 松山 由美子 (マツヤマ ユミコ)

〔 職 位 〕 教授

〔 保有学位 〕 教育学 (修士)

〔 担当科目 〕 教育方法・技術論、情報処理演習 I・II、赤ちゃんの生活とデザイン、
乳児の環境とデザイン、乳児保育研究法 I、卒業論文 I

〔 専門分野 〕 幼児教育学、教育工学 (保育における ICT 活用)

〔 学外活動 〕

(所属学会) 日本教育工学会
日本保育学会
日本教育メディア学会
日本発達心理学会
日本子ども学会
日本乳幼児教育学会

(講師等) 第 20 回視聴覚教育総合全国大会・第 67 回放送教育研究会全国大会
実践発表講師 及び ワークショップ講師 ほか

〔 主な教育・研究業績 〕

◆ 学術論文

- ・ 松山由美子ほか(2023)「幼児の主體的な学びと保育者の保育評価を支援するアプリの検討」『日本教育工学会論文誌』 vol.46, Suppl. pp.125-128
- ・ 松山由美子(2019)「ASCA 開発を通して見えた保育とメディア」『学習情報研究』 9月号 (通巻 270号), pp.52-53
- ・ 松山由美子ほか(2016)「保育現場での活用を想定した幼児向けアプリの評価観点の検討」『日本教育工学会論文誌』 vol.40, Suppl. pp.117-120

◆ 著書

- ・ 松山由美子(2021)「子どもの思いを伝えるツールとしてのメディア活用」(特集:子どもと表現), 『発達 165』 2021 WINTER Vol.42, ミネルヴァ書房, pp.59-64
- ・ 森田健宏 監修・編著(2018)『学校教育と情報機器 (よくわかる! 教職エクササイズ 6)』 ミネル

ヴァ書房

- ・ 新リズム表現研究会 編著(2018)『身体表現をたのしむあそび作品集』かもがわ出版
- ・ 松山由美子(2017)「タブレット端末は、子どもの主体的な遊びを支えるツールとなり得るのか」
(特集：子どもをはぐくむ主体的な遊び), 『発達 150』2017 SPRING Vol.38, ミネルヴァ書房,
pp.62-67 から